PRESS RELEASE

報道関係各位

2015 年 4 月 9 日
一般社団法人 RCF 復興支援チーム

5 年目の東北復興支援は新たなフェーズへ

地域資源「椿」でまちをつくる戦略コーディネーターを募集

～「花椿」を商標とする（株）資生堂も当事業を応援～

一般社団法人 RCF 復興支援チーム（所在地：東京都港区元赤坂 1-7-20 TTS 元赤坂ビル 3 階、代表理事：藤沢烈）はこのたび、岩手県大船渡市が実施する「平成 27 年度大船渡市椿利活用推進業務（以下、「椿利活用推進業務」）」を 4 月 1 日より受託しました。この事業は、現地に専任のコーディネーターを配置し、市の花であり地域資源である「椿」を軸に関係団体の連携強化や都市との交流を推進し、将来的には地域コミュニティの再構築や市の知名度・地域ブランド力の向上を促そうとするものです。本日 4 月 9 日より、現地での活動を担う「椿の里づくり戦略コーディネーター」を募集します。

東日本大震災から丸 4 年が経ち、被災地ではコミュニティの活性化や地域資源の活用など、ハード面からソフト面での復興に課題が移行し、現地で取組みを推進する人材確保が急務です。椿利活用推進業務はそのような被災地のニーズに即した取組みの一例として、行政と地域内外の民間が一体となって行うものです。また、今回の取組みは、気仙地域の大船渡市、陸前高田市で平成 25 年度から「椿」を軸とした復興支援活動を続ける株式会社資生堂（以下、資生堂）にも、応援をいただいています。

＜募集概要＞

- 募集期間：2015 年 4 月 9 日(木)～2015 年 5 月 6 日（水）※ただし、選考状況によって変動あり
- 応募方法：募集説明会に参加後、履歴書等の書類を提出いただき、その後の選考をご案内
- 募集要項：

募集職種	大船渡市　椿利活用推進支援員　（椿の里づくり戦略コーディネーター）＜1名＞
勤務地	大船渡市内
希望する期間	開始時期：平成27年6月～。最低従事期間9カ月以上。年度ごとに更新し3年程度を予定
業務内容	・椿利活用における関係者(自治体、現地事業者、地域住民、NPO 等)の現状調査 ・椿利活用関係者との座組み形成 ・上記座組みでの椿利活用計画立案(3年計画) ・椿利活用上での生産、流通、消費等の実行サポート ・椿利活用のための市内外に向けたイベント企画、実施 ・全体連絡会議への参加 ・その他、椿利活用推進に関する必要業務

- 募集説明会：
  ① 東京都内（２回開催）…4 月 24 日（金）19:00～20:30　（予定）、4 月 25 日（土）14:00～16:30（予定）／場所：3×3 Labo（東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル 6 階 662 区）※両日共
  ② 大船渡市内…4 月 29 日（祝・水）13:00～14:30（予定）／場所：大船渡市市民文化会館（リアスホール）　展示ギャラリースペース（大船渡市盛町字下舘下 18-1）

PRESS RELEASE

RCF 復興支援チーム

◎大船渡市を含む気仙地域と椿の関わり

大船渡市を含む気仙地域はヤブツバキ実取りの太平洋沿岸の北限で、多くのヤブツバキが自生しています。椿は市の花としてまちのシンボルであり、日本最大・最古とされる「三面椿」や「世界の椿館・碁石」などの観光資源があるほか、毎年 1～3 月ごろには「つばきまつり」を開催しています（写真左）。また、この地域では、各家庭において椿の実から油を絞り、食用や髪のお手入れなどに使われていたという歴史的な背景があり、椿は長くまちの人に大切にされてきました。

現在、椿に関する活動を行う団体・関係者は複数存在しますが、全体としての発信や統一ブランドとしての取組みはまだまだこれからであり、今回の椿利活用推進業務において、現地駐在の戦略コーディネーターによって自治体・現地事業者の連携体制構築を行い、地域ブランド力の強化を図るとともに、3 年計画で地域の自走体制を構築していくことを目指しています。

◎ 大船渡市での資生堂の復興支援活動について

資生堂の商標は「花椿」であることと、岩手県の大船渡市・陸前高田市の市の花は「椿」であるというご縁から、資生堂では平成 25 年度より、「椿」をキーワードに何か地域のお役に立てることができないかと考え、地域の方との対話が重ねられてきました。これまで、地元の若い世代を中心に「椿」の可能性を体感していただく「椿の夢　フェスティバル」開催や、気仙地域の椿の実を原料とした「気仙椿ドレッシング」の発売、大船渡市の「三面椿」をモチーフにしたフレグランス「資生堂 リラクシングナイトミスト」の発売、将来的な椿の産業化を目指した椿の苗木・成木の植樹など、地域の方とともに多彩な活動を展開しています。

◎ コーディネーターを活用した復興支援とは

RCF 復興支援チームでは、これまで東北の復興支援を切り口として、まちづくり・産業創出・教育・人材マッチング・調査リサーチ・情報発信など、多種多様なプロジェクトを組成、実行する「復興コーディネーター」として現地ニーズに即した課題解決を担ってきました。資金提供等する企業・行政等と、地域の主体となる住民、自治体、企業／NPO といった複数のステークホルダー間に入り、各々のニーズや利害を調整しながら様々なプロジェクトの企画、実行支援を行うことにより、東北各地でコミュニティ再生や新しい産業創出などの効果が生まれています。今後、「地方創生」が叫ばれるなか、東北での課題解決手法を全国にも応用していく方針です。

［報道関係の方のお問合せ先］
一般社団法人 RCF 復興支援チーム　担当 荻布（おぎの）、秋保
TEL ：03-6447-0041　E-mail : ogino@rcf.co.jp